

関光恵 早い復興を

9/26 竜巻被害の延岡を思いやる 宮崎

県警本部広報特使 交通安全訴え

秋の交通安全運動(21~30日)に合わせて、県警本部は25日、宮崎市のイオンモール宮崎で「秋の交通安全フェスタ」を開いた。今回は交通安全広報特使に延岡市出身の幕内力士琴恵光恵を任命。琴恵光恵は交通安全をPRしながら、竜巻被害を受けた故郷を「結果で、元氣や勇気を分けられたら」と思いやった。



交通安全キャンペーングッズを手渡す琴恵光恵 (25日、宮崎市)

県警本部は例年、同連動出発式を開くが、今年は琴恵光恵が9月場所後

郡司行敏副知事が河野知事(県交通安全対策推進本部長)のあいさつを代読。阿部文彦県警本部長が「警察は飲酒など悪質運転の取り締まりを徹底し、関係機関と連携し

思いやりのある「人優先」の交通社会の実現を」と語った。宮崎を意識したという「フェニックス」の図柄が入った青色の着流しで登場した琴恵光恵。力士が相撲のけいこを積み重ねるように、交通事故防止に向けて、取り組みを地道に続けていく」と交通安全を宣言した。警察音楽隊の演奏の後、琴恵光恵らが啓発

キャンペーン。啓発のチラシや反射材、琴恵光恵グッズのタオルなどを手渡した。地元出身の人気力士と触れ合う機会に、訪れた買い物客らはわれ先にと琴恵光恵の周囲に。あっという間にキャンペーングッズは配布が終わった。琴恵光恵はその後も笑顔で、子どもたちの写真撮影などに応じていた。

琴恵光恵は25日、秋の交通安全フェスタ終了後、報道陣の取材に応じた。過去最高位の前頭七枚目で7勝8敗の結果となった9月場所を振り返り、地元九州で開催される11月場所への意欲を語った。

一人ひとりが、一つひとつの当たり前のことを見直し日々、交通安全に取り組んでほしい。自分もジムや銭湯に行く際、自転車に乗る機会が多く、暗くなれば電気をつけ、歩行者に気を付けるようにしています。

9月場所を振り返って。負け越しはしましたが、内容的には自分の相撲を取り切れる取組が多く、そんなに落ち

自分の相撲を取り切れたと思っています。応援する県民へ。日頃から県内の皆さんは、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。自分が少しでも土俵の上で結果を出すことで、見ていただいている皆さまに、元氣や勇気を分けることができれば。

延岡の竜巻被害に恩返しできれば。被災された方々には、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。自分が少しでも土俵の上で結果を出すことで、見ていただいている皆さまに、元氣や勇気を分けることができれば。

自分の相撲を取り切れた 悔しい気持ちで九州に臨む